

北九州市黒崎地区の活性化に向けて ～ 北九州市、JR九州様との連携 ～

北九州市、九州旅客鉄道株式会社（JR九州）様と当社は、4月19日に今後の黒崎地区の活性化に向けた連携計画について会見を行いました。

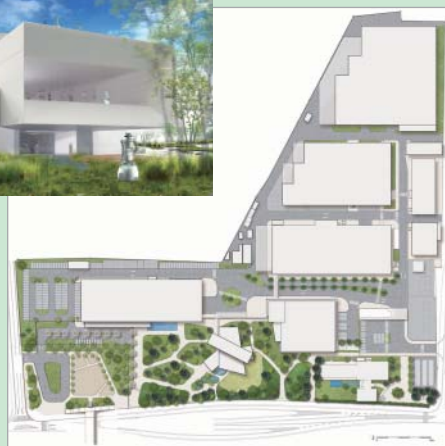
既に再開発が進んでいるJR黒崎駅の南側と、当社本社のある北側をつなぐ新たな自由通路の建設や、新しいJR黒崎駅の建設を行い、駅の南北をつないで回遊性を高めながら3者で黒崎の街全体の活性化を図っていきます。

当社は、会社創立100周年にあたる2015年に向けて、本社事業所の再編を進めています。現在は新たなロボット工場を事業所内に建設中で、今夏の完成後は既存の2工場とあわせて3工場体制となり、より多くのロボットを駆使して自動化、生産効率を高めるとともに、ロボットの開発力を強化していきます。

また、2014年末完成予定で新社屋建設を含む本社地区の再編を計画しており、7.7万㎡ある事業所のうち約1万㎡を一般の方に開放するとともに、「ロボット未来館（仮称）」を開設し広くロボットについて学べる施設を作ります。完成後は「ロボット村」として皆様に親しんでいただける事業所を目指します。



「ロボット未来館」
(イメージ)



「ロボット村」
(イメージ)

■お問い合わせ先 人事総務部 TEL 093-645-8801 FAX 093-631-8837

陸上部 NEWS

<http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

2012年度最後の4半期を締めくくった冬シーズン。当社陸上部は例年以上にマラソンでの成果を出すことができました。

昨年のロンドンオリンピック男子マラソンで6位と活躍した中本健太郎選手が、初優勝を目指して別府大分毎日マラソンに出場しました。川内優輝選手（埼玉県庁）との一騎打ちで、近年稀に見る日本人選手同士のマッチレースが繰り広げられました。28km地点から40km地点過ぎまで、スパートを掛け合う迫力あるレース展開に、沿道やテレビなどで多くのマラソンファンが興奮しました。オリンピックで活躍した選手が、その直後の大会で自己新記録を達成することは珍しく、この結果を受け、モスクワ世界陸上のマラソン代表に選出されました。テグ世界陸上、ロンドンオリンピック、モスクワ世界陸上と、3年続けてマラソン日本代表となった選手は史上初です。



初マラソンを3位で飾った平山竜成選手。
(写真は九州実業団陸上より)

翌週には延岡西日本マラソンが開催され、平山竜成選手が初マラソンに挑戦しました。38km地点で先頭に立つ走りを披露し、結果は2時間12分台で3位。今後の競技人生

をマラソン中心で展開していくと決定付けるレースでした。

一方で、マラソン以外では、飛松誠選手が現役生活に終止符を打ちました。クロスカントリーで世界大会の代表にまでなっただけに、最後のレースにも福岡国際クロスカントリーを選び、全力を出し切り悔いのない選手生活を終えることができました。

2013年度は新人選手を迎え、更にチームを強化していきます。今シーズンも当社陸上部の活躍にご期待下さい。

◆ 2013年1月～2013年3月の主な戦績

| 日程 | 大会名 | 実績 |
|--------|---------------|----------------------------|
| 1月 20日 | 全国都道府県対抗男子駅伝 | 3中本選手(山口県)7区で区間26位 |
| 2月 3日 | 別府大分毎日マラソン | 中本選手2位(自己新)、立石選手35位 |
| 2月 3日 | 香川丸亀ハーフマラソン | 久保田選手46位(自己新) |
| 2月 10日 | 延岡西日本マラソン | 平山選手3位(初マラソン) |
| 2月 10日 | 唐津10マイルロードレース | 小畑選手20位、山園選手27位(自己新) |
| 2月 23日 | 福岡国際クロスカントリー | 飛松選手36位で引退 |
| 3月 3日 | びわ湖毎日マラソン | 小畑選手15位(自己新) |
| 3月 3日 | 金栗杯玉名ハーフマラソン | 山園選手14位で引退(自己新)、小畑選手17位で引退 |

選手の声：

今回延岡西日本マラソンに出場し3位入賞することができました。これも日頃から応援していただいている皆様のおかげだと思っています。入社して2年満足いく結果がでず、何かのきっかけになればと思いこのマラソンへの出場を決意しました。

今回の初挑戦でマラソンをやっていく上での課題もみつきり、それを克服し2時間10分切りを目標に練習に取り組んでいきたい思います。

平山 竜成